

八月四日

十時大学。全体会議。夏休みの大学を利用して初めて世田谷村N棟のJOINTミーティング。ここで頭角を表してくれという私の最期のサービスか。

午後、MEMOの為の原稿、SELF・BUILD、ひろしまハウス書く。十七時終了。遠藤秀平さんという建築家から、エレクタなる出版社から出版された本送られてくる。コルゲートシートをリボン状に造形的に使った作品集であった。鈴木博之さんが作品解説を書いていて、川合邸と幻庵がチョツと紹介されている。素材に対する感性が私とは全く異なる。原理への好奇心が極めて薄く、遊戯性への傾斜がこの建築家の中心であろう。このスタイルであれば、どれ程でも、いかようにも作り続ける事ができる。リボンの結び方、ネクタイの結び方を工夫しているようなものだから。

八月五日

十時大学、今日は風も無く蒸し暑い。昨日に続き利根町史読み続ける。十三時東大建築木内君来室。チョツとした相談。鈴木博之先生と電話で話す。元気そうであった。十六時半東武造園来室。一日中研究室に閉じ込めていると体に悪いなコレワ。二十一時前京王線車中、烏山へ。七人掛のシートにわずかに余白があった。六人掛けのシートの狭間にもぐり込んだ。

八月六日

昼前大学研究室へ。終日、エスキス。プノンペンへのひろしまハウスの内部アイデアが突如別のスタイルでまとまり始める。ここ数日、こういう事が多い。自己内改革だなコレワ。一気に水屋棟のスケッチ描き上げる。午後遅く、九州忍田勉邸エスキスもまとめて、スタツフに渡す。